

平成19年1月10日

福島県立医科大学附属病院における年末年始期間中の 救急患者取扱状況について

公立大学法人福島県立医科大学附属病院
病院長 菊地 臣一

年末年始期間中に本院の高次救急センターで診療を受けられました患者さんの状況については以下のとおりです。

【高次救急センターを利用された患者数】

今回の年末年始期間中（平成18年12月29日～19年1月3日）に本院の高次救急センターを利用された患者さんは合計で564人でした。これを6日間の一日平均にすると94.0人となっています。

また、このうち救急車で搬送された患者さんは合計23人となっており、一日平均で3.8人でした。

なお、この期間中は本院の年間休診日平均70.6人（17年度）より、23.4人多くとなっており、このことはこの6日間に本院の高次救急センターを利用された患者さんが多かったことを示しております。

高次救急センター利用患者数

(人)

月日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計
曜日	金	土	日	月	火	水	
患者数	70	88	95	97	101	113	564
うち 救急車搬送	6	2	6	5	3	1	23
うち その他	64	86	89	92	98	112	541

	1日平均
患者数	94.0
うち 救急車搬送	3.8
うち その他	90.2

【年末年始期間中の高次救急センターの運営体制】

センター医師の勤務体制は、若手の医師を中心とし、救急科医師1名と輪番制の医師1名の2名体制（24時間対応）で行っています。また他に、内科系、外科系で1科ずつの輪番制による新患者向けの応援体制を築いているとともに、各診療科では重症患者に対し、専門医が駆けつけることができるようバックアップ体制を敷いています。

一方、看護体制においても、処置、点滴注射は、救急センターの場所だけでは対応不可能なため、一時的に病棟のベッド等を借りて対応しています。また、この期間中は通常の日曜日よりも日勤帯の看護師を1名多く配置し、来院患者の診療処置、看護に当たっています。

検査、薬についても、24時間体制で放射線技師、検査技師、薬剤師が対応しています。

担当 公立大学法人福島県立医科大学附属病院
事務部病院経営グループ参事 小野俊六
電話 547-1044 県庁内線 181-3011

参考

【診療科別の状況】

来院された患者さんを診療科別で見ますと、小児科が 100 人で最も多く、次いで眼科が 52 人、耳鼻咽喉科が 51 人、整形外科が 49 人となっています。

【過去の状況】

【16年度】

月日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計
曜日	水	木	金	土	日	月	
患者数	89	106	118	83	102	81	579
うち 救急車搬送	9	5	6	3	4	1	28
うち その他	80	101	112	80	98	80	551

	1日平均	年間		
		1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	96.5	41.8	26.0	73.3
うち 救急車搬送	4.7	4.1	3.7	5.0
うち その他	91.8	37.7	22.3	68.3

【17年度】

月日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計
曜日	木	金	土	日	月	火	
患者数	93	95	108	81	107	98	582
うち 救急車搬送	4	5	8	4	5	7	33
うち その他	89	90	100	77	102	91	549

	1日平均	年間		
		1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	97.0	40.8	26.0	70.6
うち 救急車搬送	5.5	3.8	3.5	4.6
うち その他	91.5	36.9	22.5	66.0

(単位：人)